

NEWS LETTER

2024/09

vol.34

CONTENTS

- ・オープンキャンパスでダイバーシティ推進室企画を実施しました
- ・ダイバーシティに係る研究者メンター制度とWeb相談窓口について
- ・育児サポートの制度をぜひご利用ください
- ・女性研究者の研究力向上のための支援をしています
- ・ワーク・ライフ・バランスのため、研究者への支援をしています

イベント

オープンキャンパスでダイバーシティ推進室企画を実施しました

7月27日(日)、水戸キャンパスにて実施された2024オープンキャンパスにて「イバダイで女性研究者になる未来！見て！！聞いて！！」と題し、ダイバーシティ推進室の企画を実施しました。常設として、昨年度「女性エンパワーメント支援制度」を利用した9名の先生方の研究紹介ポスターを掲示し、ご覧になった方からは「茨城大学でこのような研究をしている先生がいるとは知らなかった」「女性の研究者がこんなに多くいるんですね」などの感想をいただきました。また、昨年度「若手・女性研究者支援事業」で採択された学生3名の研究発表と質疑応答などを含めた佐藤ダイバーシティ推進室長とのディスカッションを午前・午後に1回ずつ開催しました。中高生のみならず保護者も多数参加し「日立キャンパスは男性が多いイメージだが、女子学生が不便に感じることはないか」などの質問に学生の立場から答えていました。午前の部は立ち見が出たり、イベント終了後には高校生が学生に直接質問をする場面もあり、盛況のうちに終わることができました。



研究発表・ディスカッションの様子

ポスター展示の様子



茨城大学ダイバーシティ推進室2024オープンキャンパス企画

イバダイで女性研究者になる未来！見て！！聞いて！！！！

イバダイには、文系・理系問わずたくさんの「女性研究者」がいます。今回は、女性研究者（教員）の研究紹介ポスターの掲示とともに、研究者を目指す茨大生の研究とキャンパスライフの紹介をします。研究者になる未来を、30分の中で、ぜひ見て、聞いて、感じてください。

イベント時間；①10:00～10:30
②14:00～14:30

参加しCO
フレンドliness
GET!

こちらのQRコードより皆様からの質問も受付中です。上記時間以外も個別の相談も受けします。気軽にお話ししましょう。

DIVERSITY AND INCLUSION

Office of Equality and Diversity
029-227-1100

アンケートに答えてくださった方にはダイバーシティ推進室のグッズをプレゼントしました

研究者支援

ダイバーシティに係る研究者メンター制度とWeb相談窓口について

本制度は妊娠・出産・育児や介護などのライフイベントと研究の両立で悩む研究者(メンティー)のために、指導や助言を行い、相談に応じる者(メンター)を配置するもので、メンティーが自発的な解決に向けてメンターの支援を得ることを目的としています。

メンターはダイバーシティ推進委員会の教員で構成されています。

令和6年度 ダイバーシティに係る研究者メンター(相談員)

部局名	職名	氏名
人文社会科学野	准教授	長田 華子
教育学野	准教授	杉本 憲子
基礎自然科学野	教授	野田 悟子
応用理工学野	准教授	王 瀟岩
応用生物学野	准教授	庄山 紀久子

また、ダイバーシティ推進室では教職員の仕事と育児・介護の両立、キャリア形成などの相談をダイバーシティ推進室HPのWeb相談窓口から受け付けています。詳細などについては([こちら](#))をご覧ください。



ワーク・ライフ・バランス

育児サポートの制度をぜひご利用ください

ダイバーシティ推進室では、仕事と育児の両立支援の取組の一環として、託児利用料補助事業を実施しています。

各事業の詳細については、ダイバーシティ推進室HP([こちら](#))をご確認ください。

・託児利用料補助事業

休日勤務や病児・病後保育などで託児サービスを利用する場合の利用料を補助する制度です。託児事業者の指定はありませんので、利用者のご都合に合わせて選択していただけます。

令和5年度託児利用料補助事業

休日のお仕事時や
病児・病後児保育時の
託児利用料を補助します

【利用対象者】
小学6年生以下の子を持つ
本学教職員

ご利用の流れ

- 必要事項を専用フォームに入力
- 託児サービスの利用
- 立替払事業者の提出
- 立替金の支払い

※ 詳細は各自でご確認ください

託児利用料補助の範囲

- 勤務日の病児・病後児の保育 ※1
- 休日勤務を避けられたときの託児 ※1
- 休日に召喚されたときのイベント時の託児 ※2

対象となる子1名につき年度中2万円を上限として託児利用料を補助する

託児事業者はご自身で選択していただけます

※1 休日に行われる入館時、館内に滞在する本学主催のイベント等において必要となる病児・病後児の保育、休日に発生する本学主催のイベント等において必要となる病児・病後児の保育
※2 休日に発生する本学主催のイベント等において必要となる病児・病後児の保育

※3 立替金返付事業の一環として立替金返付の申請を行う必要はありません
※4 立替金の支払いは、立替金返付の申請を行う必要はありません

実施期間

令和6年3月22日(金)まで
上記期間内の託児利用料を補助の対象とします。ただし、予算額に達した時点で申請受付を完了する場合がありますので、ご注意ください。

研究者支援 女性研究者の研究力向上のための支援をしています

女性エンパワーメント支援制度

教育・研究・社会貢献の分野において活躍が認められ、より高い研究力・指導力向上を目指す女性研究者を顕彰し、研究費を助成する制度です。本研究制度をインセンティブとして、女性研究者が国内外において活躍するリーダーに成長することを期待しています。今年度は助成額を1人あたり上限30万円として利用者を募集しました。



◇令和6年度「女性エンパワーメント支援制度」採択者一覧

所属	職名	氏名	研究テーマ
人文社会科学野	講師	笹野 美佐恵	アジア5都市の少子化に関する総合的研究 ：価値観・実態・制度の比較
教育学野	准教授	池庄司 規江	災害記憶の継承システムの構築 －地域と学校への社会的実装に向けて－
教育学野	助教	李 満紅	日中における初等・中等国語科教育法の共同研究と開発 －魯迅と日本文学を中心に－
基礎自然科学野	准教授	二橋 美瑞子	昆虫の微細構造形成の分子メカニズムの解析
基礎自然科学野	准教授	諸岡 歩希	農村地域における社会生態系の変容と 共存する昆虫類の遺伝的多様性の変化
応用理工学野	助教	福村 真紀子	地方観光地における「ダイバーシティ・マネジメント」 のための調査研究
応用生物学野	准教授	浅木 直美	ウコンによる窒素吸収とクルクミン含有率との関係解析
応用生物学野	講師	高瀬 唯	地域社会における自然体験の世代間伝承に関する 行動の既定要因の解明
応用生物学野	准教授	セタ 小百合	ダイズにおける根粒形成オートレギュレーションと 免疫応答の関連性の解明

令和5年度に女性エンパワーメント支援を受けた先生方の研究内容紹介等については、
[ダイバーシティニューズレターvol.29\(2024年3月発行\)](#)でご覧いただけます。

研究者支援

ワーク・ライフ・バランスのため、研究者への支援をしています

研究復帰支援制度

出産・育児・介護等のライフイベントのためにやむを得ず研究を一時中断し、その後復帰した研究者を対象に、本格的な研究再開のためのスタートアップ支援として研究復帰支援費(研究費)を助成する制度です。今年度は助成費を1人あたり上限25万円として利用者を募集しました。

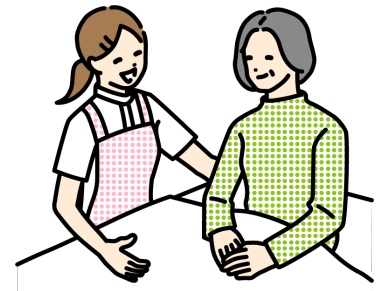


◇令和6年度「研究復帰支援制度」採択者一覧

所属	職名	氏名	研究テーマ
人文社会科学野	助教	瀬尾 悠希子	日本語教員養成課程のレリバンス解明に向けた予備的研究
教育学野	准教授	永尾 敬一	未来を含む複素作用理論
応用生物学野	講師	高瀬 唯	地域社会における自然体験の世代間伝承に関する行動の規定要因の解明

ライフイベント研究支援員制度

出産・育児・介護等のライフイベントに直面している研究者を対象に、一定期間ライフイベント研究支援員を配置して、ライフイベントと研究の両立を図る制度です。今年度は助成額を1件あたり9万円として利用者を募集しました。



◇令和6年度「ライフイベント研究支援員制度」採択者一覧

所属	職名	氏名
基礎自然科学野	准教授	諸岡 歩希
応用理工学野	教授	福岡 泰宏
応用理工学野	准教授	車谷 麻緒
応用理工学野	教授	池田 輝之
応用理工学野	准教授	鵜野 克宏
応用理工学野	教授	江口 美佳
応用生物学野	准教授	浅木 直美
応用生物学野	助教	林 暁嵐